

1、サクソフォンオーケストラの為のファンファーレ

伊藤康英 作曲

2、喜歌劇「こうもり」序曲

ヨハン・シュトラウス II世 作曲

3、プスタ

ヴァン・デル・ロースト 作曲

4、ベニー・グッドマン・メドレー



曲目解説:「こうもり」序曲

作曲者は「ラデッキー行進曲」で知られるヨハン・シュトラウスの子で、音楽家系シュトラウス家の中で最も中心的で数多くの知られた作品を生み出したヨハン・シュトラウスII世で、彼の代表作であるのが喜歌劇「こうもり」です。

題名の「こうもり」は、主人公アイゼンシュタインがその昔友人ファルケにこうもりの格好をさせ「こうもり博士」呼ばわりし、恥をかかせたのが発端となりこの物語のすべてが始まっているところからこの題が付けられています。物語の内容は「こうもり博士」ことファルケが自分をおとしいれた悪友アイゼンシュタインに復讐すべくくんだ色々な「罠」が巻き起こすどタバタの茶番劇です。

「こうもり」序曲は、その名のとおり喜歌劇の幕が上がる前に演奏される曲で、第2幕の終盤の舞踏会で踊られる有名なワルツを始めとして、アイゼンシュタイン夫人の哀歌など劇中の主だった場面の旋律が次々と現われる、にぎやかかつ美しい曲で、管弦楽曲として独立して演奏されることも多い曲です。